

建学の精神・理念と教育の目的・目標

学校法人 須賀学園（理事長 須賀英之）は、明治 33 年 11 月 3 日、須賀栄子により栃木県最古の私学女子教育機関として宇都宮市に創設され、令和 5 年には創立 123 周年を迎えました。現在、宇都宮短期大学（昭和 42 年創設）、同附属高等学校（明治 33 年創設）、同附属中学校（昭和 58 年創設）、宇都宮共和大学（平成 11 年創設）を擁し、学生生徒約 3,000 名が学んでいます。

「全人教育」を建学の精神に、学生生徒一人ひとりの能力、個性、特性に応じた教育と生活指導の徹底を実践して、進学や就職、クラブ活動で優秀な成績をあげ、北関東における歴史と伝統を持つ総合学園として高く評価されています。須賀学園の卒業生は 6 万 9 千名を超え、企業、団体など様々な場で社会人、経済人、教育人、家庭人として幅広く活躍しています。

この須賀学園の「全人教育（人間形成の教育）」の理念をもって、宇都宮短期大学は、昭和 42 年に北関東で先駆的な音楽単科短大として創設されました。以来、音楽科では、その優れた教育内容と教授陣、教育設備は高く評価され、これまでに約 3,800 名の卒業生を送り出しています。特色あるカリキュラムで、音楽教育の一層の拡充に取り組んでいます。

平成 13 年に人間福祉学科を設置し、これまでに約 2,000 名の卒業生を送り出しており、地域福祉のリーダーを養成する教育機関として、厚い信頼を得ています。

また、豊かな地域社会の持続に欠かせない食や食育・栄養の指導と支援、食文化の継承および食品の開発等を担っていく中核的な人材養成を目指して、平成 31 年に食物栄養学科を開設しました。

建学の精神「全人教育」

建学の精神は「全人教育（人間形成の教育）」である。創立者 須賀栄子は、明治 33 年（1900 年）以来、学校の教育に専心するとともに、当時の寮生活において、学生と寢食をともにし、文字どおり一人ひとりの個性を伸ばす生活指導を行った。それが、「全人教育」の原点である。

本学園の教育理念

1. 人間尊重の精神と豊かな人間性とを啓培し、民主社会における真にのぞましい人間を育成する。
2. 円満な教養と高い徳性とを培い、個々の特性の伸長につとめ、心身ともに健康な人物を育成する。
3. 自主自立の気風を高め、忍耐力と実践究明の態度を涵養し、勤労と責任を尊ぶ人材を育成する。

生活目標

いちにん いっこう

「一人は一校を代表する」

本学園では「全人教育」の理念にもとづいて、「一人は一校を代表する」を生活目標としています。この言葉は学生一人ひとりがそれぞれに本学の学生としての自分の価値を知ってそれを大切にしていこうというものです。また他人の価値も認め尊重しあえば素晴らしい社会を築いていけるものと思います。価値を自覚する心こそ、人間の大きな喜びであり、幸福の素材です。本学はその価値のあり場を認識し、価値のあり方を勉強する修養の場所でありたいと願っています。

宇都宮短期大学の教育目的

宇都宮短期大学は、教育基本法及び学校教育法の精神に従って大学教育を施し、一般教養及び専門の知識と技能を授け、文化の創造と発展に貢献し得る有為な青年を育成することを目的とする。（学則第 1 条）

宇都宮短期大学の学習成果

1. 自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている。
2. 豊かな人間性と感性を持ち、目指す専門分野に係わる基本的な知識・技術・方法を身につけている。
3. 専門技術を生かして地域や社会に貢献できる能力を身につけている。

音楽科

人材の養成に関する教育目的・目標

- 1 広い教養を身につけ、自立・自律した生活者としての行動規範を身につける。
- 2 音楽における基本的な理論と演奏技術を学ぶとともに、豊かな感性を磨く。
- 3 個々の特性を活かした芸術表現と、音楽に関わる広い職種に合う知識・技術や態度を学ぶ。

学習成果

- 1 自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている。
- 2 基礎的な理論と表現力により、感情豊かな演奏ができる。
- 3 演奏技術を修得する教育課程により、公開の場で演奏する基礎を身につけている。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

学科の教育目的・目標に鑑み、本学科所定の単位を修得し、次の成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（音楽）の学位を授与する。

- 1 自己および他者を理解し、自立・自律した生活者となることができる。
- 2 音楽の意義を理解し、専門的な知識・技術や態度を身につけている。
- 3 音楽に情熱を注ぎ、自主の気風を高め、個性を生かした芸術表現を実践する基礎ができている。

成績評価の基準は、次のとおりである。

評価	S	A	B	C	D
評価の基準	完全でないしほぼ完全に到達目標を達成している	若干不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している	到達目標の最低限を達成している	到達目標を達成していない
100点法	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下

取得できる資格の取得要件

取得できる資格の取得要件は、次のとおりである。

- 1 中学校教諭二種免許状（音楽）を取得するには、卒業要件を満たし、教職に関する専門教育科目と指定された科目を履修し、単位を修得する。
- 2 音楽療法士二種の称号を取得するには、卒業要件の他にその称号取得に必要な専門教育科目と指定された科目を履修し、単位を修得する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

- 1 基礎教育科目は、広い教養を身につけ人間と生活を理解するための科目で編成し、建学の精神を学ぶための科目と音楽キャリア講座等を必修とする。
- 2 専門教育科目は、音楽の理論と技術の基本を理解するための専門教育科目（必修）と音楽の豊かな表現を伸長するための専門教育科目（選択）で編成する。
- 3 中学校教諭二種免許状（音楽）を取得するために、教職に関する専門科目（選択）で編成する。その他の資格取得ではその資格を取得するために必要な専門科目（選択）で編成する。
- 4 学生が主体的・能動的・協同的に学修に取り組むことができるように、シラバスにおいて授業内・外の学習の明示をするとともに、学習内容の理解を深めるための学生と教員相互のチェックを積極的に行い、学びを促進する。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

高等教育に備える基礎学力を身につけ、多様な個性、能力・特性を有し、学修意欲が旺盛で、音楽を通して自己実現、自己表現、社会貢献を志すことへの明確な進路意識を持った学生を幅広く受け入れる。このため、次の点を重視する。

- 1 音楽の基礎的奏法を身につけている人
- 2 基本的な表現能力をもつ人
- 3 音楽の幅広いジャンルの表現や活動に強い関心と意欲をもつ人

人間福祉学科

人材の養成に関する教育目的・目標

<社会福祉専攻>

- 1 広い教養を身につけ、自立・自律した生活者としての行動規範を身につける。
- 2 福祉の基本的な知識・技術・方法を学ぶとともに、個々の特性を伸長する。
- 3 人間尊重の精神と倫理性をもち、利用者の課題解決・支援のできるソーシャルワーカーを養成する。
- 4 人間尊重の精神と倫理性をもち、社会福祉の視点をもった医療事務従事者を養成する。

<介護福祉専攻>

- 1 広い教養を身につけ、自立・自律した生活者としての行動規範を身につける。
- 2 福祉の基本的な知識・技術・方法を学ぶとともに、個々の特性を伸長する。
- 3 人間尊重の精神と倫理性をもち、その人らしい生活の支援ができる介護福祉専門職を養成する。

学習成果

<社会福祉専攻>

- 1 自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている。
- 2 福祉の基本的な知識・技術・方法を身につけている。
- 3 社会福祉士を目指す学生は、ソーシャルワーカーに係わる専門的知識・技術・方法を身につけている。
- 4 医療事務従事を目指す学生は、医療事務に係わる専門的知識・技術・方法を身につけている。
- 5 人間尊重の精神と豊かな人間性を身につけている。

<介護福祉専攻>

- 1 自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている。
- 2 福祉の基本的な知識・技術・方法を身につけている。
- 3 介護福祉に係わる専門的知識・技術・方法を身につけている。
- 4 人間尊重の精神と豊かな人間性を身につけている。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)

学科の教育目的・目標に鑑み、本学科所定の単位を修得し、次の成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士(人間福祉)の学位を授与する。

<社会福祉専攻>

- 1 自己および他者を理解し、自立・自律した生活者となることができる。
- 2 福祉の意義を理解し、基本的な知識・技術や方法が身につけている。
- 3 社会福祉士を目指す学生は、ソーシャルワーカーに係わる専門的知識・技術・方法が身につけており、倫理性をもって活躍できる基礎ができています。
- 4 医療事務従事を目指す学生は、医療事務に係わる専門的知識・技術・方法を身につけており、倫理性をもって活躍できる基礎ができています。
- 5 人間の尊厳を尊重し、仕事に生きがいをもって情熱を注ぐ基礎ができています。

<介護福祉専攻>

- 1 自己および他者を理解し、自立・自律した生活者となることができている。
- 2 福祉の意義を理解し、基本的な知識・技術や方法が身につけている。
- 3 倫理性をもって、その人らしい生活の支援ができる介護福祉専門職になる基礎ができています。
- 4 人間の尊厳を尊重し、仕事に生きがいをもって情熱を注ぐ基礎ができています。

成績評価の基準は、次のとおりである。

評価	S	A	B	C	D
評価の基準	完全でないしほぼ完全に到達目標を達成している	若干不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している	到達目標の最低限を達成している	到達目標を達成していない
100点法	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下

取得できる資格の取得要件は、次のとおりである。

<社会福祉専攻>

- 1 社会福祉専攻で取得できる資格を取得するには、卒業要件を満たし、その資格に必要な専門教育科目と指定された科目を履修し、単位を修得する。そのうえで、認定試験受験が必要なものは受験し、合格するこ

とで資格取得ができる。

<介護福祉専攻>

- 1 介護福祉士を取得するには、卒業要件の他に介護福祉士国家試験受験に必要な専門教育科目と指定された科目を履修し、単位を修得することで介護福祉士国家試験受験資格が得られる。そのうえで、国家試験を受験して合格することで資格取得できる。
- 2 その他の所得できる資格を取得するには、卒業要件を満たし、その資格に必要な専門教育科目と指定された科目を履修し、単位を修得する。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

<社会福祉専攻>

- 1 基礎教育科目は、広い教養を身につけ人間と生活を理解するための科目で編成し、建学の精神を学ぶための科目とキャリアデザインを必修とする。
- 2 専門教育科目は、社会福祉の基礎を理解するための専門教育科目（必修）、ソーシャルワークを理解するための専門教育科目（選択）、医療事務を理解するための科目、福祉を豊かに実践するための専門教育科目で編成する。
- 3 各種資格取得では、その資格を取得するために必要な専門科目（選択）で編成する。
- 4 学生が主体的・能動的・協同的に学修に取り組むことができるように、シラバスにおいて授業内・外の学習の明示をするとともに、学習内容の理解を深めるための学生と教員相互のチェックを積極的に行い、学びを促進する。

<介護福祉専攻>

- 1 基礎教育科目は、広い教養を身につけ人間と生活を理解するための科目で編成し、建学の精神を学ぶための科目とキャリアデザインを必修とする。
- 2 専門教育科目は、介護福祉を理解するための専門教育科目（必修）、介護福祉を理解するための専門教育科目（選択）、福祉を豊かに実践するための専門教育科目で編成する。
- 3 介護福祉士以外の資格取得では、その資格を取得するために必要な専門科目（選択）で編成する。
- 4 学生が主体的・能動的・協同的に学修に取り組むことができるように、シラバスにおいて授業内・外の学習の明示をするとともに、学習内容の理解を深めるための学生と教員相互のチェックを積極的に行い、学びを促進する。

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

<社会福祉専攻>

高等教育に備える基礎学力を身につけ、多様な個性、能力・特性を有し、学修意欲が旺盛で、ソーシャルワーカーや医療事務職として将来活躍することを希望する学生を幅広く受け入れる。このため、次の点を重視する。

- 1 福祉分野を学ぶために必要な基本的能力(国語・英語力など)をもつ人
- 2 福祉分野に不可欠なコミュニケーション能力をもつ人
- 3 利用者の自立・自律した生活支援の知識・技術の向上を図るために必要な基礎的知識(家庭・情報の教科など)をもつ人
- 4 ソーシャルワークに係る広い分野に興味・関心をもつ人
- 5 医療事務に係る広い分野に興味・関心をもつ人

<介護福祉専攻>

高等教育に備える基礎学力を身につけ、多様な個性、能力・特性を有し、学修意欲が旺盛で、介護福祉士として将来活躍することを希望する学生を幅広く受け入れる。このため、次の点を重視する。

- 1 福祉分野を学ぶために必要な基本的能力(国語・英語力など)をもつ人
- 2 福祉分野に不可欠なコミュニケーション能力をもつ人
- 3 利用者の自立・自律した生活支援の知識・技術の向上を図るために必要な基礎的知識(家庭・情報の教科など)をもつ人
- 4 介護福祉に係る広い分野に興味・関心をもつ人

食物栄養学科

人材の養成に関する教育目的・目標

- 1 広い教養を身につけ、自立・自律した生活者としての行動規範を身につける。
- 2 豊かな人間性と感性をもち、食に係わる基本的な知識・技術・方法を身につける。
- 3 人間尊重の精神と、食に係わる専門的な知識・技術・方法等を身につける。
- 4 倫理性をもった栄養士として、食や福祉に係わる広い分野で地域や社会に貢献できる。

学習成果

- 1 自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている。
- 2 豊かな人間性と感性をもち、食に係わる基本的な知識・技術・方法を身につけている。
- 3 人間尊重の精神と、食に係わる専門的な知識・技術・方法等を身につけている。
- 4 倫理性をもった栄養士として、地域や社会の福祉に貢献できる能力を身につけている。

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与方針)

学科の教育目的・目標に鑑み、本学科所定の単位を修得し、次の成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士(食物栄養学)の学位を授与する。

- 1 自己および他者を理解し、自立・自律した生活者となることができる。
- 2 豊かな人間性と感性をもち、食に係わる基本的な知識・技術・方法が身についている。
- 3 人間尊重の精神をもち、食に係わる専門的な知識・技術・方法等を身につけ、地域に貢献できる基礎ができている。
- 4 栄養士として、食を通して健康や福祉の広い分野で貢献できる能力が身についている。

成績評価の基準は、次のとおりである。

評価	S	A	B	C	D
評価の基準	完全でないしほぼ完全に到達目標を達成している	若干不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している	不十分な点は認められるものの、到達目標を達成している	到達目標の最低限を達成している	到達目標を達成していない
100点法	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下

取得できる資格の取得要件は、次のとおりである。

- 1 栄養士を取得するには、卒業要件を満たし、その資格に必要な専門教育科目を履修し、単位を修得する。
- 2 その他の取得できる資格を取得するには、卒業要件を満たし、その資格に必要な専門教育科目と指定された科目を履修し、単位を修得して資格認定試験受験資格を得る。そのうえで認定試験を受験し、合格することで資格が取得できる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- 1 基礎教育科目は、広い教養を身につけ人間と生活を理解するための科目で編成し、建学の精神を学ぶための科目とキャリアデザインを必修とする。
- 2 専門教育科目は、栄養士資格を取得するための指定科目及び食と生活を豊かに実践するための科目で編成する。
- 3 栄養士以外の資格取得では、その資格を取得するために必要な専門科目(選択)で編成する。
- 4 学生が主体的・能動的・協同的に学修に取り組むことができるように、シラバスにおいて授業内・外の学修の明示をするとともに、学習内容の理解を深めるための学生と教員相互のチェックを積極的に行い、学びを促進する。

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

高等教育に備える基礎学力を身につけ、食に係わる学習意欲が旺盛で、将来、社会で活躍することを希望する学生を幅広く受け入れる。このため、次の点を重視する。

- 1 食を通じた健康と福祉に興味・関心をもつ人
- 2 基本的なコミュニケーション能力をもつ人
- 3 食の専門職としての知識・技術を学ぶために必要な基本的能力(国語・英語力など)をもつ人
- 4 地域の健康や福祉の向上を図るために必要な基礎的知識(家庭・情報・理科の教科など)をもつ人